

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第11号 (2008・1)
事務局川西地区自主防災会

1. かがわ自主ぼう春季研修会の開催

昨年の夏季研修会に引き続き第2回の研修会を、世界的に有名な「地震考古学」の寒川先生（高松市出身）をお招きして開催します。
是非ご出席いただきますよう、ご案内申し上げます。

1. とき 平成20年3月23日(日) 13:00~16:00
2. ところ 高松市サンポート2番1 サンポートタワー4F BBスクエア
3. 記念講演 地震考古学からみた南海地震

講師 地震考古学者 寒川 旭先生

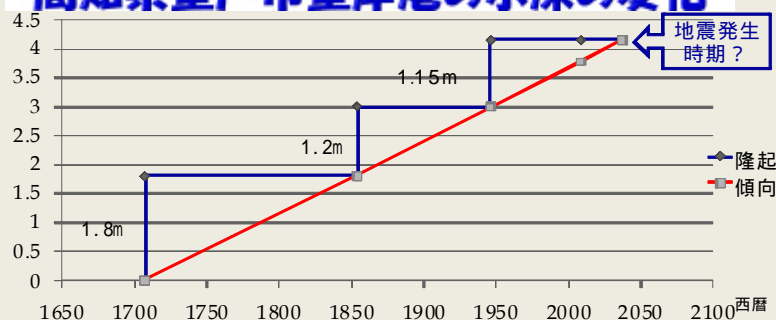
4. 成果発表 産・学・地域連携のモデル発表も行います。
* 詳細は別途ご案内をさしあげます。



2. 見えてきた巨大南海地震の周期性

高知大学岡村教授の講演から

高知県室戸市室津港の水深の変化



宝永地震1707	M 8.4 - 8.6	震度6、死者28名、倒壊家屋929戸 液化化(地裂け水湧き出る、砂地基だし、井筒突出) 五剣山の一峰崩壊、津波1.8M
安政南海地震1854	M 8.4	震度6、死者5名、倒壊家屋2961戸 堰浜堤大破、川堤大破、堰崩れ、満濃など池大破多数津波約0.3M
昭和南海地震1946	M 8.0	震度5、死者52名、全半壊3057戸 提防決壊亀裂など堰田被害、地盤沈下多数 道路・橋梁損壊多数、津波約1M、浸水500戸



室戸市室津港の水深を調査すると、南海地震の都度、港が大きく隆起していることが解った。

1707年宝永南海地震では1.8mの隆起、1854年安政南海地震では1.2mの隆起、1946年昭和南海地震では1.15mの隆起が解明された。この相関関係をグラフに表すと上図のようになる。

隆起の折れ線グラフと傾向の直線が交差した点が次の南海地震の時期を示している？

予測では、2025年から2035年の範囲で発生確率が非常に高い。

調査によると、南海地震は約100年に一度発生しており、約350年に一度、巨大南海地震が発生(東海、東南海、南海地震の連動による)しているらしい。1707年宝永巨大南海地震から300年を経過した今後、次に来る南海地震は宝永級の巨大地震の可能性もあり、現在調査が進んでいる。

3 . わが街の紹介（綾川町）

念仏踊り



防災訓練



平成の大合併の名の元、平成18年3月21日に旧綾南町、旧綾上町が合併し、新町「綾川町」がスタートし、早や2年が経過しました。

本町は、香川県のほぼ中央に位置し、町名の由来ともなった綾川が、南東部の山中に源を發して北西部を流れ、府中湖を経て坂出市に流入しています。

地形といえば、町土の約半分が山地や山麓地で形成されています。

こういった、水と緑の豊かな美しい自然も、ひとたび大雨・台風などの自然災害によって牙をむきます。

今でも記憶に残る平成16年度における災害は、合併前の旧綾南町、旧綾上町にも甚大な被害をもたらしました。

平成18年度においては、新町としての危機管理体制の整備・強化が急務だということで、

・「綾川町地域防災計画」の策定

・「綾川町防災マップ」の作成 と、各防災事業に取り組みました。

防災マップ作成では、一般住民のみなさんにも参加いただき、「ワークショップ」を開催し、掲載内容・構成など協議いただき、町内河川の氾濫時浸水想定区域に平成16年台風23号による水害実績を重ね、土砂災害危険区域など山間部における重要危険箇所、さらには各地区の指定避難場所や防災施設、機関を掲載し、防災のしおりと合わせて全戸に配付し、ホームページでも紹介しています。折に触れて住民の皆さんが、利用いただければと希望しています。

一方、災害に強い町づくりにおいて、行政の役割はさることながら、「自分たちの町は自分たちで守る」といった考えのもと、本年度は自主防災組織の結成推進に取り組んでいます。

住民で組織する自主防災組織が強化され、機能していくことが大切であり、こういった観点から、町民の防災に対する意識啓発として、町民参加型の訓練として「第2回綾川町防災訓練」を実施しました。

この訓練は、2部構成の訓練体系で実施し、第1部として、災害発生から地域における避難の呼掛け、避難集結。第2部において主会場における各種災害対策訓練への参加、各団体の防災啓発、展示コーナーの体験といったもので、今後も毎年実施し、住民1人1人が参加・体験することで、防災意識を醸成し、ひいては自主的な防災意識を強めていくものと考えます。

本連絡協議会事務局の川西地区自主防災会におかれましては、町合併時の防災訓練から参加いただき、当町住民組織との対話などを通して、「みずからの手による防災」を指導いただき、参加町民は良いお手本を毎年拝見しています。

今後も当町において、各種防災事業を展開することで、自助・共助・公助による防災に努め、災害に強い町づくりを目指すものです。

事務局連絡先：〒763-0092 丸亀市川西町南428 川西コミュニティセンター内

かがわ自主ぼう連絡協議会事務局 川西地区自主防災会 0877-28-5519 josin-c@mail.netwave.or.jp